



## 安全上のご注意



ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

### ■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

	この表示は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 電波時計について

### 電波時計とは

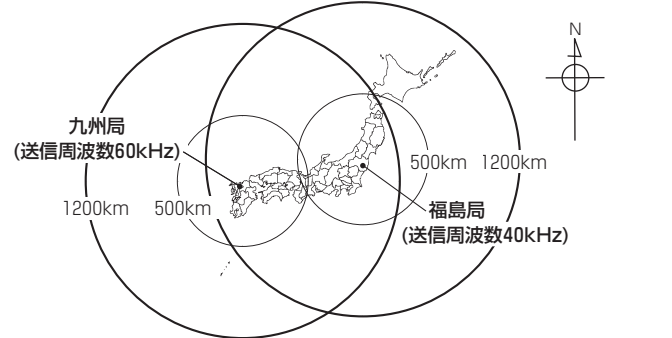
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせします。

### 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。  
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。  
標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はかね山標準電波送信所」の2カ所あります。  
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。（<http://jjy.nict.go.jp>）


### 電波の受信範囲について

送信所からおよそ1200kmの範囲です。。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。




この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。


### ■誤飲による事故防止について


	付属部品（掛金具、ねじなど）、小形の電池（ボタン形、コイン形および単4形、単5形など）は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
---	---

### ■アルカリ電池について


	●電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。 ●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。
---	--

### ■電池について

	電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。 ●+（プラス）、-（マイナス）を逆に入れないでください。 ●新しい電池と使用した電池や種類の異なる電池の混用はしないでください。 ●指定された電池を使用してください。 ●使い切った電池は速やかに取り出してください。 ●長時間使用しない場合は、電池を取り出してください。 ●電池交換時は、すべて新しい電池とお取りかえください。 ●電池交換時は、電池と時計の端子（接触部）の汚れを落としてから入れてください。
---	---

	分解したり改造しないでください。故障の原因になります。
---	-----------------------------

### ■使用場所について

	下記のような場所では使わないでください。 機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。 ●温度が+50℃（50度）以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。 ●温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。（プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。） ●ほこりが多く発生する場所。（空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まることがあります。） ●テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。（磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。） ●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。 ●浴室など、湿気の多い所。 ●温泉場など、ガスの発生する所。 ●多くの油を使用する所。（霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。） ●プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルの上に長い間置くと、相互に色移りしたり、付着することがあります。
---	---

### ■お手入れについて

長くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整（有料）をおすすめします。販売店にご相談ください。  
●汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。  
●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。  
●掛時計を壁面に掛けた場合、ケースなどの静電気で壁面が汚れるおそれがありますので、定期的に汚れを落としてください。

## こんなときには

時計・分針・秒針が反時計回りに動いたり、早送りで針が動いたままになる。

・電池の残量が少なくなると、誤動作の原因になります。特に、「強制受信ボタン」を押したとき、あるいは自動受信したときに発生しやすくなります。このような場合は、新しい電池と交換してください。

松下電池工業株式会社製「オキシライド乾電池」は使えるか？

・この時計はマンガン電池の特性に合わせて設計されていますので「オキシライド乾電池」は使用しないでください。使用した場合、時計が正常に動かない、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生することがあります。

海外で使いたい。

・日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがありますので、海外でのご使用はお進めできません。。

自動受信の時刻は？

・2時16分40秒から受信を行います。

今まで受信できていたのに、急に受信できなくなった。

・近くにノイズの発生源がある可能性があります。ノイズの発生源から遠ざけてください。

・標準電波を送信している設備の定期点検や落雷などの影響で停波（送信停止）することがあります。停波に関する情報は「情報通信研究機構」のホームページに掲載されています。  
ホームページアドレス <http://jjy.nict.go.jp>

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

### ●修理部品の保有について

この掛時計の修理用性能部品（電子回路・歯車等）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

### ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

### ●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合、お客様相談室にご相談ください。

（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

## 製品仕様

時 間 精 度	標準電波の受信に成功した場合の表示誤差（受信直後） 秒針 ±1秒以内 時針/分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信 しない場合 平均月差 ±20秒(常温)
使用温度範囲	-10℃～+50℃（0～+40℃液晶可読範囲）
使用電池	1.5V単1形マンガン乾電池(JIS規格R20P) 3本
電池寿命	約1年(メロディーを1日17回、音量を最小で鳴らした場合)
その他	●正時メロディー ●振り子 ●音量調整 ●メロディーモニター ●明暗センサー ●電波受信確認用ランプ


●付属の電池は、工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

※0℃～+40℃の範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合がありますが、時計精度には影響ありません。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

### ■液晶表示板について

	表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸で洗い流してください。目や口に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、直ちに、医師の治療を受けてください。
---	---

## CITIZEN.

# 電波時計 メロディ付掛時計 取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

○ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

○この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

CITIZEN はシチズン時計株式会社の登録商標です。

取扱説明書番号 M121-CXXW

## お問い合わせについて

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたら**お客様相談室**にお問い合わせください。

お買い上げの製品に関するお問い合わせにつきましては、製品の裏面などに表示してあります製品番号（型番）をご確認のうえ、お問い合わせください。

（例 4MN○○○など）

### お問い合わせ先

■お客様相談室 **フリーダイヤル ☎0120-557-005**

受付時間 9:00～17:45  
（土日、祝日および当社休日を除く）

発売元 **リズム時計工業株式会社**

本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
<http://www.rhythm.co.jp>

# ご使用方法

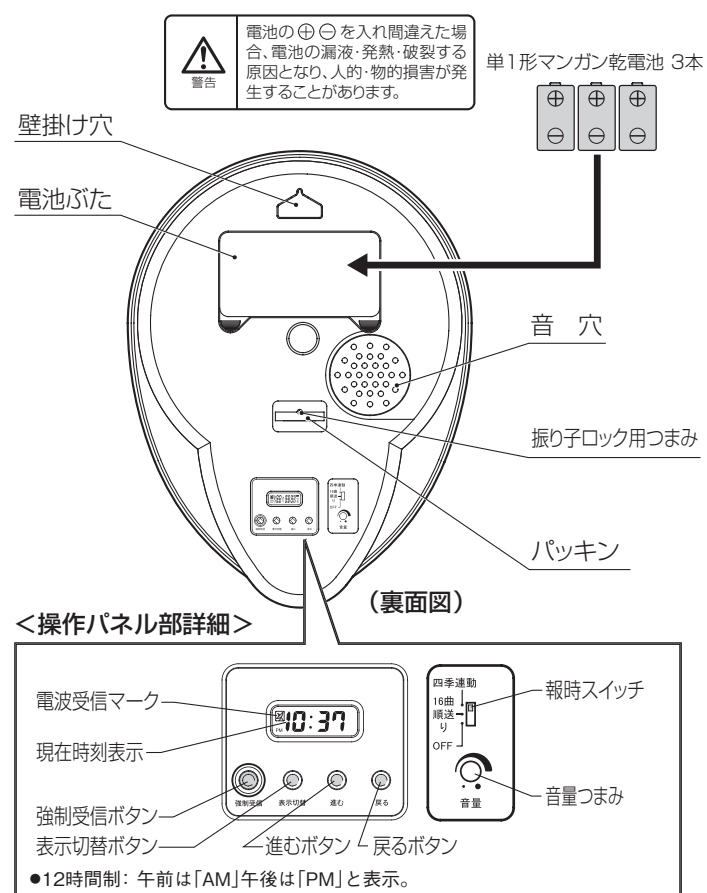
## 各部の名称

※図は操作説明用ですので、実際の商品とデザインが異なる場合があります。

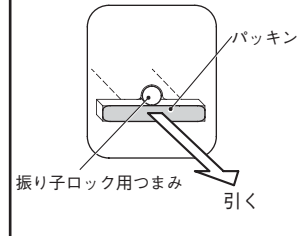


## 商品の特長

- 標準電波を受信することによりカレンダー／時刻を自動修正。
- 季節や特定の日にちにに応じた毎正時にメロディを奏でます。



## 1

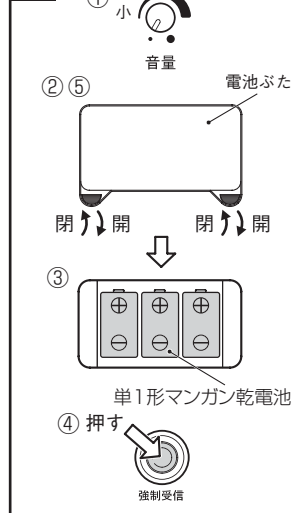


## パッキンを取り除きます

時計裏面のパッキンを取り除きます。

パッキンは輸送などにおける衝撃から振り子を保護するものです。輸送するときにはパッキンを差し込んでください。パッキンを差し込むときは振り子ロック用つまみを上に上げて差し込んでください。

## 2



## 電池を入れます

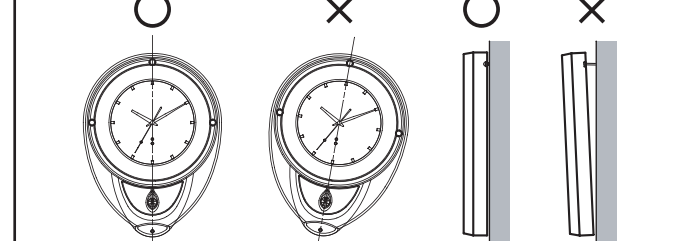
- 時計裏面にある音量つまみを最小にします。最小にしない場合、急に大きな音がする場合があります。
- 電池ぶたを取り外します。
- 単1形マンガン乾電池3本を電池ホルダーの⊕ ⊖ 刻印に合わせて正しく入れます。

電池を入れてもすぐには時計・分針・秒針は動きません。

- 強制受信ボタンを押してください。※電池を入れたあとは必ず強制受信ボタンを押してください。
- 電池ぶたを取り付けてください。※受信中は、ボタン操作をしないでください。

## 3 時計を掛けます

ご使用になる場所に時計を掛けてください。掛けるときは「時計の掛け方について」をよくお読みください。

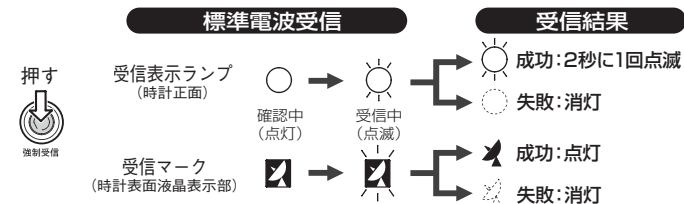


- 〇時計を垂直に、壁面との間にすき間がないように掛けます。垂直に掛けないと、振り子が止まる場合があります。
- 〇振り子は飾りですので、時計と連動していません。

## 4 受信結果を確認します

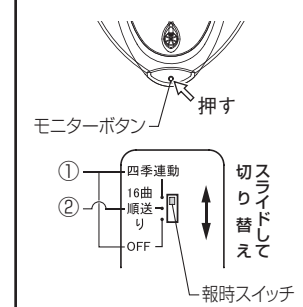
受信するまで2～15分かかります。受信が完了すると時計・分針および秒針が早送りで動き時刻を示します。

<受信までのプロセス>



受信に失敗した場合は、「電波受信をできない場合」を参照ください。

## モニターボタンについて

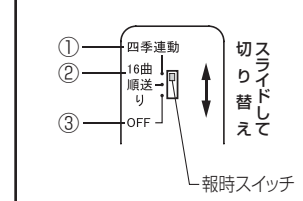


【ご注意】  
切り替えるときは、スイッチを止まる位置まできちんとスライドさせないと設定が切り替わらないことがあります。

時計正面のモニターボタンを押すと曲を試聴することができます。曲を奏でるとき、文字板外周に内蔵されたLEDランプが点滅し、文字板外周にある飾り板が回転します。曲の種類や順番は、報時スイッチの位置により変わります。

- 四季連動またはOFF→四季連動と特定日の曲を順に奏でます。
- 16曲順送り→16曲を順に奏でます。※曲目は時計裏面に表示してあります。※モニターボタンを押すごとに、曲目が変わります。

## 報時スイッチの設定方法



### スイッチの位置と機能

- 四季連動→毎正時に特定日や季節ごとに設定されている曲を奏でます。
- 16曲順送り→内蔵された16曲が1時間ごとに切り替わって曲を奏でます。
- OFF→曲を奏でません。(モニターボタンを押したときは曲を奏でます) ※曲を奏でるとき、文字板外周に内蔵されたLEDランプが点滅し、文字板外周にある飾り板が回転します。

曲目や特定日などを変更することはできません。

# ※電波を受信できない場合

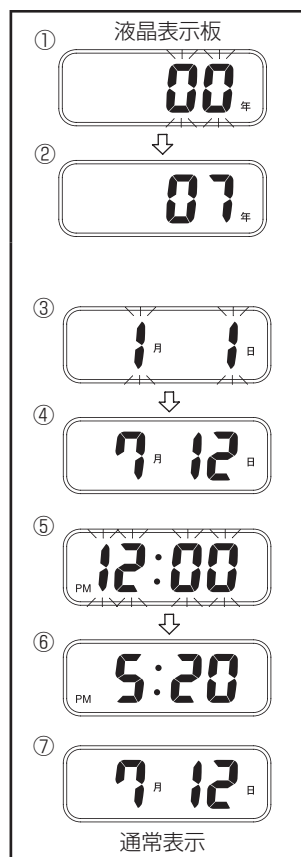
- 朝までそのままにしておく  
一般的に夜間は電波状況が良くなるので、一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す  
電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所（取扱説明書の日本地図を参考）に、なるべく時計の正面または裏面が向くようなところに設置してください。強制受信ボタンを押して再度受信を試みてください。
- 時刻合わせをしてその場所で使用する  
ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手で時刻合わせをしてお使いください。  
※電波を受信しにくいところで使用すると、ノイズにより誤った時刻を表示することがありますので、電波を受信しやすいところでのご使用をお勧めいたします。

## 下記の手順で時刻合わせができます。

※この場合の精度は、平均月差±20秒以内となります。  
※電池を入れた直後または強制受信ボタンを押した直後（受信ランプが点灯している時）、針が早く回っている間は、手で時計を操作することはできません。

- 手動での時刻の合わせ方  
時計裏面の操作パネルでカレンダーと時刻を合わせることができます。操作例は西暦2007年7月12日 午後5時20分に合わせています。  
※操作を途中で止めた場合、その途中の結果が反映されます。  
※手動で時刻合わせをしても、標準電波の受信に成功すると自動的に修正されます。

ボタン操作について  
「進む」または「戻る」ボタンは、押し続けると早送りします。



以上の操作が終わると時計・分針・秒針が早送りで時刻を表示します。

- 表示切替ボタンを約1秒以上押しします。西暦の末尾2桁の点滅表示に切り替わります。
- 「進む」または「戻る」ボタンを押して年を合わせます。

- 表示切替ボタンを押します。月と日が点滅表示されます。
- 「進む」または「戻る」ボタンを押して月／日を合わせます。

- 表示切替ボタンを押します。時／分が点滅表示されます。
- 「進む」または「戻る」ボタンを押して時刻を合わせます。

- 表示切替ボタンを押します。月／日が表示されます。

## 自動受信時刻修正機能について

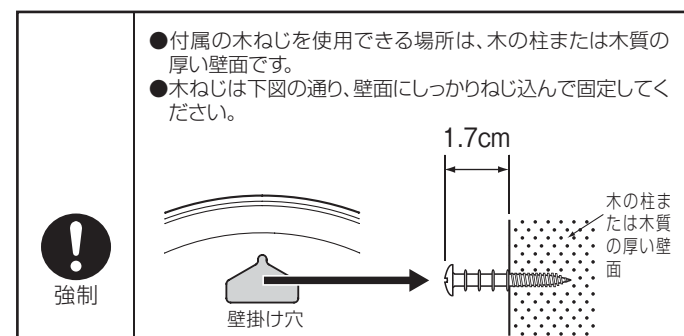
	受信回数
● 受信成功から72時間以内の場合	最小 1回/日 最大 3回/日
● 連続72時間以上受信に失敗している場合	12回/日
● 初めから受信に失敗している場合	
● 手動で時刻合わせをした場合	

## 明暗センサーについて

この時計には、光を感知し暗くなると秒針を12時の位置で停止させ、受信表示ランプの点滅と正時メロディを停止させる明暗センサーが付いていますので、夜間の気になる音や光の点滅がなくなります。このセンサーは、明るさに応じて動くため、昼間や夜間照明時でも設置場所の光量不足により、秒針が停止し、受信表示ランプが消灯する場合があります。

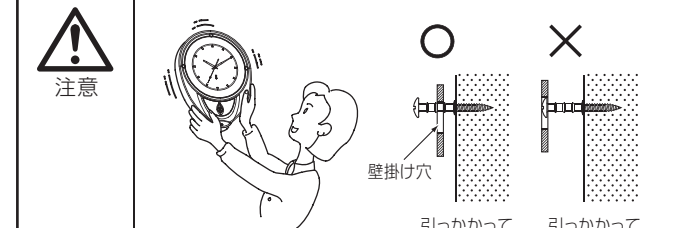
※秒針が停止している間も時・分針は正しい時刻を示しています。  
※明るくなると、再び秒針が正しい時刻に早送りで復帰し、受信に成功している場合は受信表示ランプが点滅します。

# 時計の掛け方について



- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。



- 時計を掛けた時は、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。